

かいっぱい がんばる子

令和3年3月17日

園長 木野園枝
菊川中央こども園〈3月末号〉



チューリップも芽を出し、日差しもあたたかく、春がやってきました。

みなさん、卒園、進級おめでとうございます。

今年は、4月に「新年度が始まる。」と、張りきっていたら、「新型コロナウイルス感染拡大」と、世界中が今までにない事態となりました。

園も、4月末から登園自粛となり、本当にハラハラしたスタートでした。

6月になり全員登園となり、令和2年度が本格的にスタートしました。

その後も、通常どおりにはならない中で、「こどもたちには、いつもと同じような保育をやろう。」と職員一同でいろいろ考え、進めてきました。

行事も、できる範囲で、子どもたち中心に保護者のご協力をお願いしながらやってきました。

そんな中でも、どの子もお友達と先生と、いろいろな活動を経験しながら、

一緒に活動することが楽しいことや嬉しいこと、

また、我慢することや、悔しいことなど、集団でなければ経験できないことを感じたでしょう。

今、なかなかいろいろな人と関われない中でも、

友だち、先生と関わるだけでも子どもたちは大きく育ちます。

人はひとりでは生きていけません。いろいろな人と関わりながら生きていきます。

これからも、いろいろな人と関わりながら、いろいろなことを感じ、どんどん大きくなってほしいと思います。

先日の菊川公園へのお別れ遠足では、年長児が年少児の手を引いて歩いていく姿に、「おにいさん、おねえさん、おねがいね。」と声を掛けると、「だいじょうぶだよ。」と頼もしい返事が返ってきました。

本当に大きくなりました。

桃組は青組、赤組は桃組、藤組は赤組、たんぽぽ組は藤組に進級します。

どの子も、一つ大きくなって新しい環境になります。

希望でいっぱいですが、不安もあります。

お家に帰ったら、そんな子どもたちを膝に入れたり、抱っこしたり、保護者のあたたかさで包んであげてください。

保護者の方が、「いつも一緒だよ。」「大丈夫だよ。」の安心パワーを伝えてあげてください。

それだけで、子どもたちには力になります。「自分大好き。」「自分てすごいんだ。」と思えることが大事です。

まだまだ、小さな子どもたちです。みんなの愛情をいっぱいかけて育てていきたいですね。



手洗い

今年は、とにかく手洗いの徹底。ということで一年間指導してきました。

コロナの感染症対策として徹底されてきた手洗い、体温検査でしたが、

幸いにもいろいろな感染症も少なく、インフルエンザの発生もなく、

体調不良で欠席する子も少なかったように思います。

基本的な感染症予防対策としての、手洗い、密を避けることは、

すべての予防になることが、改めてわかったように思います。

今後も、感染予防対策には気を付けていきたいと思います。



最後にひとこと

保護者の皆様には、いつもご協力、ご支援をいただき大変ありがたく思っております。

特に、今年のような今までにない日常になり、皆さんの暖かなお言葉がとても嬉しかったです。

先生たちも、いつも子ども一人ひとりをよく観て、支えてくれました。

来年度も、子どもたち一人ひとりに目をむけ、

明るい楽しい声がいっぱいの園になるよう、頑張っていきたいと思います。

来年度も、今年度同様、よろしくご協力をお願いします。

